



第 32 号  
国立市北2-4-28  
能味寿哉 575-7110  
印刷 ジャノメサービス

# 国立白門会を

## 創った人々

国立白門会会長 能味 寿哉



今から二十年前の二月のある夜、国立駅前ブランコ通りにあるパブ「レッドトップ」で水割りを楽しむ学生仲間だった関喜一さんたちと出会う。歓談の果て、関さんから「先輩 国立に是非白門会を創って下さいよ」と懇願されたのが、我が会のそもその発端になった。その辺からの経緯については、福谷氏が編まれた「創立十周年記念誌」（はばたき）の中に詳しいが、昭和53年 月

21日に開催された創立総会では、次の顔触れが決まった。

- 会長 村田 亘
- 副会長 井上定男
- 幹事長 五十嵐力
- 副幹事長 福合 実
- 会 計 関 喜一
- 会計監査 南川義昭
- 幹 事 佐藤勝博
- 山崎 武
- 久保田利雄
- 山口正明
- 西野聖吉
- 等原勝雄
- 石川武夫
- 山下一夫

実は私のよく存じ上げない方もおられるが、幸い皆さんの協力によって四年後には一〇八名の終身会員を把握でき、正式名簿を添えて学員会国立支部への昇格を申請する

こととなる。

そして僅か二ヵ月後には、学員会幹事会で支部昇格が承認され、当時の谷村唯一郎会長から昭和57年5月28日付けで承認通知を頂くというスピーディな進展だった。

在野法曹から初めて最高裁判事に就任された中大の最も輝ける星のお一人である谷村さんは承認日付の翌日、急のご発病で他界されたから、まことに因縁めいた忘れられない事実としていつも村田さんの語り草になっていた。

創立当初、顧問にお迎えした中西 旭、池田油太郎、井上謙二郎、市橋千鶴子の諸先生のうち、お元気でおられるのは中西、市橋両先生で、現在もご高底いただいていることはうれしい次第。

さて草創期の熱気は素晴らしかった。村田会長の陣頭指揮もさることながら、まだ若かった役員諸氏の情熱がよく一つにまとまり毎月必ず集まっては何か企画し、また運営に携わったことが懐かしい。

へビースモーカーだった村田会長の語るシンガポール野戦病院の主計長の苦労談、山形県人らしい温厚誠実な井上副支部長の女房役ぶり、銀座で商売をなさっているという佐藤さん生国秋田県への傾倒ぶり、(第一回のバザーでの多種多商品の提供) へ今国立市

と秋田県合川町との深いかわりの始まりである。色んな事業に必ず妙案を出してくれた小柄の久保田さん、自宅マンションの一室で自分は飲まないのに高級スコッチなど気前よく飲ましてもらったことも、感謝の気持ちでいっぱいである。

今秋、二十周年事業の一環として発行予定の「記念写真集」には、多分全員皆さんにどこかでお目にかかれる、そんな親しみのある、中大精神に言う家族的な味わいの濃いものに仕上がればと願っている。いまは亡き先輩方もどこかのページで微笑んでいて下さるにちがいないと、私は再会を楽しみにしている。

### 幹事長に就任して

風間 健



昭和三十五年卒業して三十八年になります。国立市に在住二十八。新卒の証券会社勤務、脱サラ自営業。現在は、妻市議会議員二期目副議長、妻

と息子二人は結婚独立、共に国立在住、孫二人の標準的な市民だと自覚しております。今年、中央大学国立白門会創立二十周年を迎えて、多くの先輩の方々の愛校心と、国立市への母校の定着化と長年にわたる地域での活発な活動に心から敬意を表したいと思っております。そしてこの、地域に密着した活動を更に活発化し発展させていくことが私たちに課された大きな責務だと痛感しております。その中において白門会幹事長として果たす責任の重大さに身の引き締まる思いがします。

常に活動の中心にあつて、その活動の更にはすばらしい企画を立案し、会員の皆様方のリーダーとして先頭にあつて会を運営していくことが幹事長に求められる責務だと思っております。しかしながら、役員の皆様や会員の皆様方の心強いご協力がなければ、とてもその責務を全うすることは出来ません。どうかご指導とご協力をお願い申し上げます。

最後に会員の増強についてお願いいたします。

現在約二百二十人の名簿登録があります。ここ数年は新規の登録が少なく、転居、転勤等で暫減傾向にあります。会員の皆様方、どうか、一人でも多く入会されるよう働きかけをお願いいたします。

# 秋の旅行会は紅葉の美しい 奥多摩の散策と「かんぼの宿」



我が「国立白門会」では毎年秋に旅行会を開催しておりますが、今年は比較的近いところでゆつくりしようということで風間幹事長、藤村厚生部長のご尽力によりJR青梅線から南の方向に20分ほど歩いたところにある最近人気の高い郵政省関連の「かんぼの宿」での一泊と文化の香りの高い川合玉堂美術館の見学が企画されました。

集合は11月23日の午後5時現地集合ということで、私は二宮さんをお誘いして車で行きまし

た。例年通り奥様同伴大歓迎ということで今年は風間さん、上田さん、山崎さんの奥さん、私の家内が参加いたしました。

能味会長は駅から歩いてくれたそうで相変わらずのご健脚ぶり。また、お忙しい中、毎年ご参加いただいております齊藤先輩もご到着、ただ、ご同伴予定のご友人が所用で参加できず残念がっておられました。

入浴後、部屋の窓から外を見ると薄暗くなっている空に多摩の山々の輪郭が浮き出て、また眼下に流れる多摩川の流れの音がかすかに聞こえてくるようでとても静かな風情でした。近くにこんな良いところがあるとは知りませんでした。

夕食は風間幹事長の特別のご配慮で大広間に用意されておりました。おいしいお料理をいただき、大きな声で談笑し、お酒もたくさんいただいているうちにカラオケも始まり、はじめは遠慮がちだった奥様がたもだんだん調子が出て次々に熱唱、私は選曲ボタンを押すのに大忙しでした。そのうちに会長は女性陣をさそって得意のダンス。豊の大広間はダンスホールに大変身。最後は皆で校歌を大きな声で歌い、宴会を締めました。

翌日は御岳溪谷沿いにある日本画壇の巨匠、川合玉堂画伯の作品が展示されている玉堂美術館を見学。館内の作品もすばら

しいのですが、この美術館から眺める多摩川の流れ、金色にかかったです。昼食は紅梅苑で栗ご飯をいただき、最後は草木染の工房「壺草苑」を見学して楽しい秋の旅行は終わりました。

幹事の皆さんありがとうございました。ご都合で参加できなかった会員の皆さん、どうぞ次回は一緒しませんか。堀田 記

## 秋の市民祭りにバザー出店



11月3日、秋晴れの一日第28回くにたち市民祭りが大学通りを中心に開催され、我が国立白門会も税務相談、バザーに出展するとともに11月9日に実施された学術講演会のチラシを添付し多数の市民の参加を呼び掛けた。国立白門会のバザーも恒例化し、OBの方々も気軽に立ち寄り話をして行ゆくなど、和やかな雰囲気でした。

市民祭りに参加するに当たり毎年役員が悩むのは、何を売出するかであり、今年は市橋先生をはじめとして会員皆さんからの物品提供によるものと勤務先の関係から堀田副支部長と藤村厚生部長の手配による製紙を販売することに

なり、当日は陳列台もほぼ一杯になり会員の巧みで威勢の良い販売勸奨と素敵な奥様方の活躍により、昼過ぎには盛況の内に終了しました。

能味支部長を始め物品の提供された会員の皆さんならびにお手伝いしていただいた会員の方々ありがとうございました。

バザーに関して思い出すのは、昨年のバザーの事です。銀杏をメインにした販売を實施し好評を得たわけですが、その裏には涙ぐましい努力がなされたのです。

というのは、昨年は大型の台風が来襲し大学通りのイチヨウの木から大量の銀杏の実が地上に落ち、ここに目をつけたのが堀田さん、これをバザーで売ろう、この一瞬の閃きで大きな「ごみ袋」に三杯収集し、これを土の中に埋め、約一カ月後に掘り出して洗浄して綺麗な銀杏にしたわけです。この間の工程が臭くて大変だったようです。

風間さん、堀田さんご夫妻のおかげで「大学通りの銀杏」として販売することが出来たわけです。奥さん曰く、匂いがなかなか取れなくて大変だったとの事…… 来年もほどほどの台風が来襲し銀杏が地上に落下すれば良いなど考えながら…… 加工するのは今度は私かなと思いついて昨今です。

最後に会員の皆さんにお礼があります。今年も11月にはバザーを予定しておりますので是非とも物品の提供等ご協力をお願いします。

厚生部 上田 記

第八回ホームカミングデーに参加

恒例のホームカミングデーが十月十九日多摩キャンパスで開催されました。

能味会長、丸本、堀田両副会長、風間さん、また市橋顧問(学員会副会長)も懇親会パーティーで一緒にしました。



# 前田利昭先生迎え講演会

十一月九日(日)午後二時より国立公民館において、中央大学学術講演会を開催しました。

経済学部教授の前田利昭先生をお迎えして、「香港返還と上海の今後」と題してご講演をいただきました。時節がら興味をもたれる方が多く、六十名余りの方々にお越しをいただき、用意した席が足りない程でした。

能味会長の挨拶の後、風間幹事長の司会で、前田先生のご講演が始まりました。

香港の歴史、現状 経済、又中国の香港に対する経済戦略等たいへん興味深いお話に、会場の皆さんは真剣に耳を傾けていました。講演後質問の時間には皆さん活発に発言され、お帰りの時に、「たいへんためになりました」と感想のお言葉をいただきました。

講演会終了後、会場の近くの中華料理店で、前田利昭先生と同行された中央大学学長室副部長福田孝志氏を囲んでの懇親会を催すことになりました。

国立支部の和気あいあいとした雰囲気の中で、お二人ともリラックスしていただけたようです。前田先生には「草原情歌」を中国語で披露していただき、会員一同感激しました。

平本聖子 記



ご来場の皆様にご感想を紙をお配りしてご感想をお聞きました

① 今回の講演会のご感想	イ よかった	73%
	ロ まあまあ	23%
	ハ よくなかった	4%
② 話のないようは	イ よく理解できた	50%
	ロ 大体理解できた	38%
	ハ むつかしかった	8%
	その他	4%
③ 演題はどうですか	イ よかった	89%
	ロ まあまあ	11%
	ハ よくなかった	0%

## いま評判の地ビール「多摩ビール」を飲んで恒例の納涼会



平成九年七月十八日風間俊範様のご招待で納涼会を多摩ビール園にて行いました。当日は私、若林を含めて3組が夫婦同伴であり、総数十名程の方達が出席なさいました。この多摩ビール園での目玉はなんと、いっても地ビールにあります。風間俊範様のすすめで代表的な三種類の地ビールをいただきました。市販のビールと比べてどのビールもおいしくいただきました。中でもビールの名前は忘

## ④ 今後の講演会で取り上げてほしいテーマ

- 経済問題
- 政治問題
- 自然環境問題
- 文化問題
- 希望する演題
- 日本経済の今後の動向
- 株の問題について
- 中小企業問題について
- 中近東の将来

れてしまいましたが、アルコール度数が通常の市販されている物よりちょっと高いビールを皆おいし、おいしいと口々に述べておりました。季節は、ちょうど七月下旬でビールには本当においしい季節であり、国立白門会の先輩達は、わたくしのように若い者にもざっくばらんに話して頂ける雰囲気があるので、私達夫婦もほろ酔い気分のいい気分になりました。

ビール園の後は、皆でカラオケにくりだし、大きな声で歌い大変楽しい一時を過ごさせて頂きました。若林 記

## 多摩ビール園のび案内

レストラン ビア倶楽部  
八王子市大塚五六四  
☎ 0426-78182  
京王線聖蹟桜ヶ丘駅 バスターミナルのりば ①番  
〔南大沢〕行、〔中央大学〕行、〔堰場〕行で約十分(帝京大学前)下車 徒歩三分

## ☆ お知りませ

我が母校、中央大学多摩キャンパスの地元支部の連絡組織「中央大学学生会三多摩支部連絡協議会」の幹事支部を立川支部より引継ぎました。〔メンバー支部〕八王子支部・立川支部・日野支部・青梅西多摩支部・町田支部・三鷹支部・調布支部・国立支部



大いに盛り上がり上がった新年会  
平成十年二月一日、富士見通り中華レストラン「プリンセスライラ」にて新年会が開催されました。若い真見 敬(さなみ けい 平成年舞)さまも参加され、時の経つのも忘れる楽しい新年会でした。

平成10年度国立白門会予算案  
自 平成10年 4月 1日  
至 平成11年 3月31日

平成9年度国立白門会決算書  
自 平成 9年 4月 1日  
至 平成10年 3月31日

科目	摘要	金額
収入		
年会費	3000×100名	300,000
総会費	4000×30名	120,000
の特別収入	バザー等	30,000
部前年度繰越金		667,869
合計		1,117,869
支出		
印刷費	ニュース	100,000
通信費	会員連絡他	70,000
会議費	役員会他	30,000
総会費		180,000
交際費	他支部総会他	150,000
の事務用品費		30,000
親睦行事費		100,000
部雑費		50,000
特別会計繰入	20周年記念費	200,000
予備費		207,869
合計		1,117,869

収入の部			支出の部		
科目	決算	予算	科目	決算	予算
年会費	168,000	300,000	印刷費	44,100	100,000
総会費	84,000	120,000	通信費	47,610	100,000
寄付・祝金	76,000	0	会議費	14,750	20,000
特別収入	296,475	30,000	総会費	126,740	160,000
雑収入	354	0	交際費	139,078	100,000
前年度繰越金	481,365	481,365	事務用品費	4,483	30,000
			親睦行事費	51,564	100,000
			雑費	10,000	50,000
			予備費	0	271,365
			次年度繰越金	667,869	
合計	1,106,194	931,365	合計	1,106,194	931,365

平成10年 5月10日

会 計 高橋 雅幸 ㊟  
会計監事 穴戸 勇之 ㊟

平成10年度活動予定

厚生部  
\*くにたちウォーキング 10月10日  
\*新年会 11年 1月31日  
\*納涼会 日程・場所調整中

事業部  
\*4月5日 さくらフェスティバル参加 (済)  
\*11月3日 国立市民まつり参加  
\*11月29日 20周年記念行事 (式典、アクション)

組織部  
\*会員の増員

広報部  
\*国立白門会ニュース32号の発行  
\*20周年記念誌の発行

平成9年度活動報告

厚生部  
\*7月18日 納涼会 (多摩ビール)  
\*10月10日 くにたちウォーキングに参加  
\*11月23日24日 青梅「かんぼの宿」一泊旅行  
\*2月1日 新年会 (プリンセスライラ)

事業部  
\*4月6日 さくらフェスティバル参加  
\*6月15日 総会 (せきや第2ビル3階ホール)  
\*11月3日 国立市民まつり参加 (バザー)  
\*11月9日 学術講演会 (国立公民館)

組織部  
\*学員の把握・規約の一部改正

広報部  
\*国立白門会ニュース31号の発行

会員の皆様、「国立白門会創立20周年記念事業」にご支援をお願いいたします。

-----

創立時にご苦労された故、村田前会長をはじめ、諸先輩のご苦労に報いるため、そして同じ中央大学を卒業し、さらに同じ街に生活しているという、この絆を一層強固なものにするために能味会長、風間幹事長を中心に是非とも記念事業を成功させましょう。

平成10年度総会開催

-----

日時 6月7日 (日)  
午後4時～6時

場所 レストラン  
プリンセスライラ  
(富士見通り公民館向い)

会費  
年会費 3,000円  
懇親会 4,000円

会員の皆様、万障お繰り合わせの上、ご出席下さい

中央大学高校別ランキング(サンデー組)

1 桐蔭学園(裾川)239	13 大 宮(埼玉) 56
2 桐光学園(裾川) 89	14 西武文理(埼玉) 55
3 湘 南(裾川) 88	14 城 北(東京) 55
4 川 越(埼玉) 80	16 立 川(東京) 54
5 海 城(東京) 78	17 厚 木(裾川) 53
6 市 川(埼玉) 75	18 国 立(東京) 51
7 春日部(埼玉) 69	19 町 田(東京) 50
8 八王子東(東京) 66	19 国 学 院(東京) 50
9 熊 谷(埼玉) 62	19 横 濱 翠 嵐(裾川) 50
10 前橋県立(群馬) 60	22 城 北 埼 玉(埼玉) 49
11 浦和県立(埼玉) 59	22 桐 朋(東京) 49
12 小 田 原(埼玉) 57	22 吉 祥 女 子(東京) 49